

■After 建築名称 下段:英語名	HHT ヒューマンハブ天寧寺倉庫 Human Hub Tenneiji soko		
建築用途	大分類 生産施設、商業施設、事務所	小分類 工房、セレクトショップ、コワーキングス	
改修設計者	長坂常／スキーマ建築計画	URL	
所在地	福島県会津若松市天寧寺町7-38	Google Map	
改修年	2022年	After 外観:関美工堂時代からの塗装が剥げた外壁。	
建築規模	構造:鉄骨造、規模:地上2階、延床面積:1,092.67㎡		撮影者提供者 撮影:桐原武志 2024年
掲載書誌	新建築:2024年4月号		概要 after 既存工場の痕跡を残しつつ、ショップ、カフェ、コワーキングスペース、会津の伝統工芸を継承する若者を育てる共同工房にリノベーション
賞・選定	Dezeen AwardsのShortlist		
資料・その他	URL		
■Before 建築名称	関美工堂		概要 before 漆を中心とした工芸品を扱う関美工堂の工場
建築用途	大分類 生産施設	小分類 工場	
■写真 Before	リノベーション前の外観	After 1F:セレクトショップ、カフェ、シェア工房、シェアキッチン	After 2F:シェアオフィス、コワーキングスペース、315インチのスクリーン、エプソンと共創のHHT PRINT Lab
			
撮影者提供者	提供:スキーマ建築計画	撮影者提供者 撮影:桐原武志 2024年	撮影者提供者 撮影:桐原武志 2024年
■リノベーション内容	キーワード 用途変更、外観保存、痕跡	内容 ・漆器を扱う関美工堂の工場・倉庫を、1階は関美工堂のオリジナル商品や地域の伝統工芸品などを扱うセレクトショップ、人々が立ち寄れるカフェ、シェアキッチン、伝統工芸の技術を継承したい若手の職人を育てる工房に、2階はシェアオフィス、コワーキングスペースとなっており、会議やシンポジウムなどにも利用できる315インチの特大スクリーンのあるスペース、さらに、会津若松市が推進しているスマートシティ構想に参加するエプソン社と提携し最新鋭のプリンターなどが使える環境が整えられている。 ・関美工堂を継承する外観・波板鉄板の塗装が剥がれ落ちているが、予算が限られていることもあり塗装を塗り替えることなく継承している。さらに南側の外壁(外観写真左端)は鉄板を撤去し透明のポリカの波板に変え、内部の断熱材や鉄骨の小屋組みが見えるようにし、建物のエイジングを表している。 ・1,2階の一体化・2階南側のスラブを撤去し吹抜けとすることで、1階と2階が一体の空間となっている。 ・自作の家具・2階のオフィスや1階店舗の什器はスキーマがデザインしオーナーが工房で制作した家具が使用されている。 ・人を育てる培養器としての空間は新築ではなくリノベーション空間が適している。	
■備考			
■作成者 氏名/所属	桐原武志 / Free JIA再生部会	作成協力者 関美工堂、スキーマ建築計画	